

消 防 年 報

平 成 1 9 年 版

蓮 田 市 消 防 本 部

(平成20年刊行)

姿勢のあらまし

蓮田市は埼玉県の一部に位置し、その総面積は 27. 27 k m²である。又、J R 宇都宮線（東北本線）がおおむね南北に縦貫し、都心から約 4 0 k m、鉄道で約 4 0 分という恵まれた交通条件から近年都市化の進展が著しい。

地形は、南北に長く東北部を流れる元荒川を境に菖蒲町及び白岡町に、西部は綾瀬川を境に桶川市・伊奈町及び上尾市に、東南部は、さいたま市にそれぞれ隣接し、綾瀬川とほぼ平行に利根川を水源とする見沼用水が流れている。

道路網を見れば南北に国道 1 2 2 号が、又市の中央を県道さいたま・栗橋線が横断している。

昭和 9 年 1 0 月 1 日綾瀬村が町制を施行し蓮田町が発足し、昭和 2 9 年 5 月 3 日蓮田町・黒浜村・平野村の 1 町 2 村が合併して新たな蓮田町が発足となり、昭和 3 1 年 1 月 1 日岩槻市大字川島及び馬込の一部が編入し、昭和 4 7 年 1 0 月 1 日市制を施行し蓮田市となり、現在に至っている。

蓮田市章

中央に[ハ][ス][田]の文字、
そのまわりにはすの花を図案化したもの
です。



市の花

すいれん（すいれん科）

すいれん

初夏から初秋にかけて水面にひらく花の美しさはいうにいけないものがあり、一瞬の暑さを忘れさせてくれます。昔から洋の東西を問わず伝説や物語にも幾度となく登場し、蓮田の地名の由来にも深いかかわりがあります。



市の木

はなみずき（みずき科）

はなみずき

春には紅白のかれんな花をつけ秋にはみごとに紅葉します。樹性は強じんて土質を選ばず、しかも開花期が長く清らかで、その愛らしさは他に類をみず、伸びゆく蓮田市を象徴しています。



は　　じ　　め　　に

平素から消防防災体制の充実・強化につきましては、深いご理解と多大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、関係各位のご協力により、安全で安心な市民生活の確保と消防行政サービスの要求が多岐にわたっているところですが、頻発する各種災害の複雑多様化、大規模化により市民からの防災に対する期待がますます増大しているところでございます。

この年報は、蓮田市消防本部の現勢と消防諸般の基本的な統計を収録し、今後の参考に資するとともに消防事情を広く一般に紹介するため編集したものです。

この統計により、蓮田市消防本部について一層のご理解を深められ防災体制確立に特段のご協力をお願い申し上げます。

平成20年6月

蓮　田　市　消　防　本　部

目 次

蓮田市消防の沿革	1
消防庁舎	3
[総務・警防関係]	4
人口推移・消防年度予算	5
消防組織	6
事務分掌	7
現有消防力	10
消防吏員階級年齢調べ	11
消防職員配置状況	12
勤続年数及び階級別消防吏員数	13
消防水利設置状況	14
消防自動車配置状況	15
消防相互応援協定	16
気象統計	17
[予防・保安関係]	21
火災増減状況	22
月別火災発生状況	23
出火原因別火災発生状況	24
地域別火災発生状況	25
過去10年間の火災の推移	26
覚知別・曜日別・時間帯別火災発生状況	27
防火対象物状況	28
中高層建築物状況	29
消防同意状況	30
訓練・広報活動状況	31
予防関係届出状況	32
危険物施設状況	34
危険物認可等事務処理状況	35
[救急・救助関係]	36
救急概要	37
救急出動件数及び搬送人員	39
時間別出動及び現場滞在時間数	40
事故種別搬送状況	41
現場到着所要時間等	42
救急支援状況等	43
応急手当普及啓発活動状況	44
市内公共施設 AED 設置場所	45
救助活動状況	46
[消防団関係]	47
消 防 団	48

蓮田市消防の沿革（過去５年間）

- 昭和３９年 １月 昭和２９年の町村合併以来純農村地帯であった当町にも年々都市化の波が押し寄せ人口が急激に増加した。
- 又、工場・事業所の進出と自動車等の交通量の増加と共に危険物施設等が多くなり、常備消防の必要がせまれ、蓮田町上２丁目１番１４号に蓮田町消防団常備部を設置する。部長に役場消防係、宮澤春雄氏が就任し、外６名の団員で業務を開始する。

（ 省 略 ）

- 平成１５年 ３月 消防署南分署消防ポンプ自動車を更新する。
消防団第１分団詰所を解体処分し、東５丁目７番地２号に新築する。
鉄骨２階建、102.06㎡
- ４月 消防職員１名退職し、女性消防職員１名の増員により実員
８５名（消防吏員８４名・事務吏員１名）となる。
９代目消防長に関根幸男氏が就任する。
救急救命士国家試験に合格し、５人目の救急救命士が誕生する。
- １１月 消防署南分署水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
- １２月 防火水槽（耐震性）４０ｍ³級Ⅱ型１基（根金自治会館内）設置する。
- 平成１６年 ２月 消防署南分署高規格救急自動車を増車する。
旧救急車は本署に引揚げる。
- ３月 消防職員４名が退職し、実員８１名となる。
消防職員４名（内女性消防職員１名）増員になり実員８５名（消防吏員
８４名・事務吏員１名）となる。
救急救命士国家試験に合格し、６人目の救急救命士が誕生する。
- ８月 新消防庁舎が完成する。（敷地面積５,042.18㎡・延床面積１,787.28㎡・鉄
筋コンクリート造２階建）
- 平成１７年 ３月 第１分団消防ポンプ自動車を更新する。
消防団第３分団詰所を解体処分し、閏戸３９７番地８号に新築する。鉄骨２
階建、102.06㎡
防火水槽（耐震性）４０ｍ³級Ⅱ型１基（閏戸３９７番地８ 消防団第３分団詰
所内）設置する。
消防職員３名退職し実員８２名となる。
- ４月 消防職員４名の増員により実員８６名（消防吏員８５名・事務吏員１名）
となる。
１０代目消防長に高橋一郎氏が就任する。
第２７回救急救命士国家試験に合格し、７人目の救急救命士が誕生する。
- ８月 防火水槽（耐震性）４０ｍ³級Ⅱ型１基（高虫１７０３番地１ 高虫自治会館内）

設置する。

10月 防火水槽(耐震性)40m³級Ⅱ型1基(閨戸3126番地1 閨戸保育園内)設置する。

11月 第2回東部地域救急フェスタが蓮田市総合市民体育館において開催される。

平成18年

3月 消防署化学消防ポンプ自動車を更新する。
消防署水槽付消防ポンプ自動車を更新する。
消防団第6分団詰所を解体処分し、黒浜1132番地に新築する。鉄骨2階建、102.06m²。
消防団長篠崎邦明氏に消防庁長官より永年勤続功労章が授与される。

4月 消防職員1名を市役所危機管理室へ派遣し、実員85名(消防吏員84名・事務吏員1名)となる。

元消防職員 安西勝紀氏に第6回危険業務従事者叙勲が授与される。

第29回救急救命士国家試験に合格し、8人目の救急救命士が誕生する。

5月 消防職員1名退職し、実員84名(消防吏員83名・事務吏員1名)となる。

災害対応訓練を実施する。(国道122号バイパスJRアンダーパス)

11月 11代目消防長に齋藤幸男氏が就任する。

平成19年

3月 第6分団消防ポンプ自動車を更新する。
消防署高規格救急自動車を更新する。
連絡車を増車する。

4月 消防職員1名退職し、実員83名(消防吏員81名・事務吏員2名)となる。

12代目消防長に岡田喜義氏が就任する。

消防団長に吉岡政広氏が就任する。

第30回救急救命士国家試験に合格し、9人目の救急救命士が誕生する。

埼玉県防災航空隊へ消防職員1名を派遣する。(平成19年4月1日～平成22年3月31日)

6月 消防職員1名退職し、実員82名(消防吏員80名・事務吏員2名)となる。

11月 消防職員2名の増員により実員84名(消防吏員82名・事務吏員2名)となる。

平成20年

2月 防火水槽(耐震性)40m³級Ⅱ型1基(笹山492番地 笹山集落研修センター内)設置する。

3月 第3分団消防ポンプ自動車を更新する。
消防長 岡田喜義氏に消防庁長官より永年勤続功労章が授与される

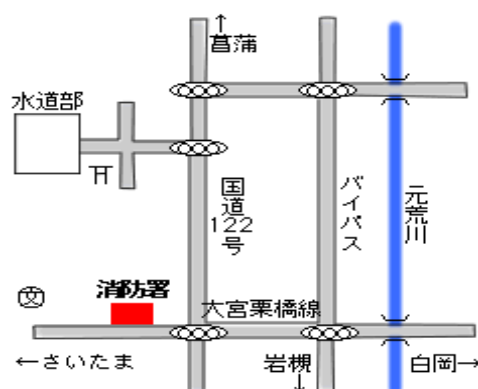
4月 消防職員3名退職し、実員81名(消防吏員79名・事務吏員2名)となる。

13代目消防長に増田宗吉氏が就任する。

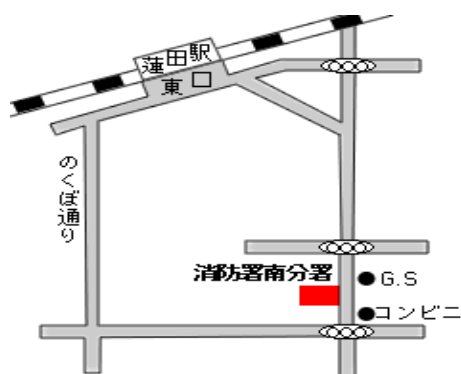
第31回救急救命士国家試験に合格し、10人目の救急救命士が誕生する。

消防庁舎

名 称	蓮田市消防本部・消防署
所 在 地	〒349 - 0133 埼玉県蓮田市大字閨戸 178 - 1 Tel : 048 - 768 - 0119 (代表)
建設年月日	平成 1 6 年 7 月 7 日
構造・階数	鉄筋コンクリート・2階建
建築面積	1. 2 9 1. 6 9 m ²
延 面 積	1. 7 8 7. 2 8 m ²
敷地面積	5 0 4 2. 1 8 m ²



名 称	蓮田市消防署南分署
所 在 地	〒349 - 0114 埼玉県蓮田市大字馬込 1800 - 8 Tel : 048 - 769 - 4396
建設年月日	昭和 5 4 年 3 月 3 1 日
構造・階数	鉄筋コンクリート・2階建
建築面積	2 1 4. 2 4 m ²
延 面 積	4 3 9. 7 2 m ²
敷地面積	1 0 2 9. 7 4 m ²



総務・警防関係

※人口の推移

年度 \ 区分	人口	男	女	世帯数
平成12年度	64,852	32,521	32,331	22,426
平成13年度	64,917	32,528	32,389	22,727
平成14年度	65,008	32,585	32,423	23,134
平成15年度	64,899	32,429	32,402	23,397
平成16年度	64,795	32,477	32,318	23,764
平成17年度	64,369	32,298	32,071	23,871
平成18年度	64,233	32,210	32,023	24,134
平成19年度	63,990	32,041	31,949	24,363

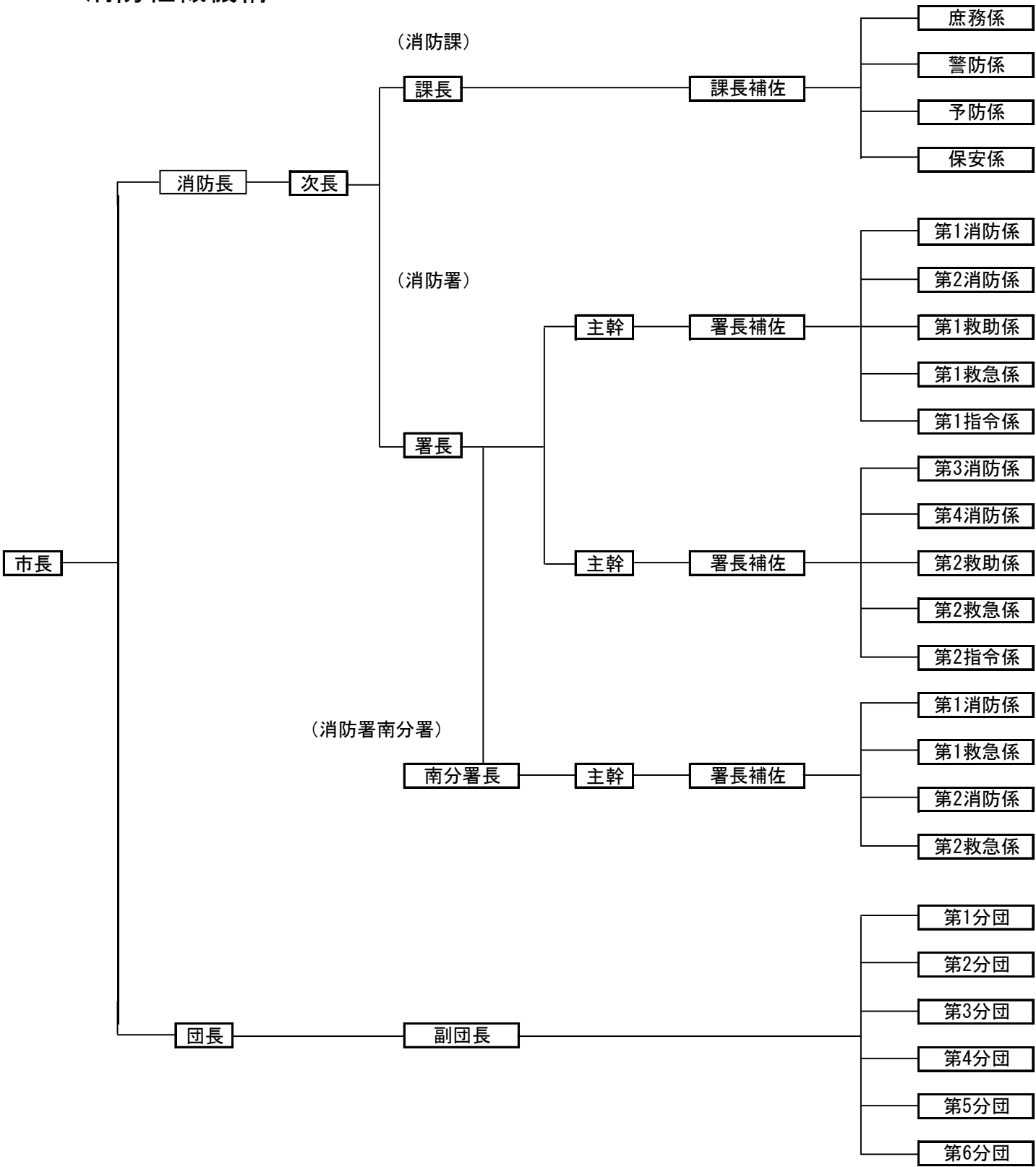
※年度別消防費予算(当初)に対する負担比較

年度 \ 区分	消防費予算(当初)(千円)	人口一人当り(円)	一世帯当り(円)
平成12年度	937,189	14,451	41,790
平成13年度	902,731	13,905	39,720
平成14年度	910,805	14,010	39,370
平成15年度	1,275,169	19,648	54,501
平成16年度	1,170,601	18,066	49,259
平成17年度	903,756	14,040	37,859
平成18年度	885,157	13,780	36,676
平成19年度	755,896	11,812	31,026

※消防予算

年 度	市 予 算 (単位千円)	消防費	比 率
平成12年度	15,970,000	937,189	5.9
平成13年度	15,589,000	902,731	5.8
平成14年度	15,546,000	910,805	5.9
平成15年度	15,740,000	1,275,169	8.1
平成16年度	15,985,000	1,170,601	7.3
平成17年度	15,722,000	903,756	5.7
平成18年度	15,514,000	885,157	5.7
平成19年度	14,530,000	755,896	5.2

消防組織機構



庶 務 係

1. 公印の保管に関すること。
2. 文書收受、発送及び管理にかんすること。
3. 職員の人事及び給与に関すること。
4. 条例、規則の制定及び開廃に関すること。
5. 予算及び管理に関すること。
6. 物品の購入に関すること。
7. 職員の貸与品に関すること。
8. 安全衛生管理に関すること。
9. 消防施設の整備計画に関すること。
10. 消防財産に関すること。
11. 個人情報の管理に関すること。
12. 消防統計及び広報の統括に関すること。
13. 消防団に関すること。
14. 表彰及び儀式に関すること。
15. 公務災害補償に関すること。
16. 職員の福利厚生に関すること。
17. 消防職員委員会に関すること。
18. 課内の庶務に関すること。
19. 他の主管に属さない事務に関すること。

警 防 係

1. 警防計画及び演習訓練に関すること。
2. 消防車両・資機材の整備及び管理に関すること。
3. 消防水利の計画及び検査に関すること。
4. 消防総合応援協定に関すること。
5. 開発行為に伴う指導又は協議に関すること。
6. 安全運転管理に関すること。
7. 救急・救助の総括に関すること。
8. 応急手当の普及啓発に関すること。
9. 救急搬送証明書の交付に関すること。
10. 医療機関との連絡調整に関すること。
11. 消防用通信施設の整備及び管理に関すること。
12. 気象の総括に関すること。
13. 消防用燃料等に関すること。
14. その他警防に関すること。

予 防 係

1. 火災予防の広報、啓発に関すること。
2. 予防査察及び指導に関すること。
3. 建築確認等の同意事務に関すること。
4. 防火管理者の育成及び指導に関すること。
5. 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
6. 火災予防関係法令の実施に関すること。
7. 火災原因及び損害調査に関すること。
8. 予防統計及び情報管理に関すること。
9. 住宅防火対策に関すること。
10. 火災の罹災証明の交付に関すること。
11. 防火基準適合表示に関すること。
12. 防火クラブの育成及び指導に関すること。
13. 街角消火器の整備に関すること。
14. 消防訓練の指導に関すること。
15. その他予防に関すること。

保 安 係

1. 危険物製造所等の規則及び許認可事務に関すること。
2. 危険物製造所等の保安の確保及び指導に関すること。
3. 指定数量未満の危険物、指定可燃物等の規制及び指導に関すること。
4. 火薬類の規制事務に関すること。
5. 液化石油ガス等の保安の確保及び指導に関すること。
6. 危険物製造所等、火薬類及び液化石油ガス等の災害調査に関すること。
7. 危険物施設等の統計に関すること。
8. 防火安全協会に関すること。
9. その他保安に関すること。

消防署事務分掌

消防係

1. 火災等の警戒及び防御に関すること。
2. 消防水利の管理保全に関すること。
3. 消防機械器具の管理保全に関すること。
4. 警防調査に関すること。
5. 消防用通信施設の運用に関すること。
6. 火災原因及び損害調査に関すること。
7. 火災予防条例に関すること。
8. 消防訓練に関すること。
9. 街角消火器の維持管理に関すること。
10. 気象統計に関すること。
11. 署内の庶務に関すること。
12. 他の主管に属さない事務に関すること。

救急係

1. 救急業務に関すること。
2. 救急講習の指導及び訓練に関すること。
3. 救急車及び救急資機材の管理保全に関すること。
4. 救急統計及び報告に関すること。
5. 救急救命処置技術の研究に関すること。
6. その他救急に関すること。

救助係

1. 救助業務に関すること。
2. 特殊災害の警防活動に関すること。
3. 救助訓練に関すること。
4. 救助工作車及び救助資機材の管理保全に関すること。
5. 救助調査に関すること。
6. 救助統計及び報告に関すること。
7. その他救助に関すること。

現有消防力の比較

平成19年4月1日

この基準(平成12年1月20日消防庁告示第1号)は、市町村が火災の予防・警戒及び鎮圧、救急業務並びに人命の救助等を確実に遂行し、当該市町村の区域における消防の責任を十分に必要施設及び人員について定めたものである。

したがって、当市の人員及び施設は基準以下なので、できるだけ基準に達するよう計画的に整備を推進していく必要がある。

(1) 施 設

種別	区分	基 準 数	現 有	充 足 率 (%)
署 所		2	2	100
消防ポンプ自動車 (署管理分)		4	4	100
はしご自動車		1	0	0
化学消防自動車		1	1	100
救急自動車		3	3	100
救助工作車		1	1	100

(2) 人 員

種別	区分	基 準 数	現 有	充 足 率 (%)
消防隊員		42	31	73.8
救急隊員		18	21	116.7
救助隊員		15	10	66.7
通信員		6	4	66.7
予防要員		9	5	55.6
消防司令長等		21	7	33.3
庶務の処理等人員		4	3	75.0
消防吏員合計		115	81	70.4

階級年齢別消防吏員数

平成19年4月1日

	合計	内女性	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
18 歳	0							
19 歳	0							
20 歳	0							
21 歳	0							
22 歳	0							
23 歳	2						1	1
24 歳	1						1	
25 歳	2	1					2	
26 歳	2						2	
27 歳	2	1					2	
28 歳	0							
29 歳	4						4	
30 歳	4						4	
31 歳	5					4	1	
32 歳	1					1		
33 歳	4					4		
34 歳	1					1		
35 歳	0							
36 歳	2					2		
37 歳	1					1		
38 歳	0							
39 歳	1					1		
40 歳	0							
41 歳	2					2		
42 歳	1					1		
43 歳	4				3	1		
44 歳	1					1		
45 歳	3				3			
46 歳	5				4	1		
47 歳	2				2			
48 歳	2				1	1		
49 歳	3			1	2			
50 歳	3			1	1	1		
51 歳	5			1	1	3		
52 歳	3				3			
53 歳	3				2	1		
54 歳	3				3			
55 歳	1			1				
56 歳	2			1	1			
57 歳	0							
58 歳	5			5				
59 歳	1		1					
60 歳	0							
61 歳	0							
62 歳	0							
63 歳	0							
64 歳	0							
65 歳	0							
合計	81	2	1	10	26	26	17	1

消防職員配置状況

平成19年4月1日

階 級 配置別		消 防 吏 員							事 務 吏 員	合 計
		消防監	司令長	司令	司令補	士 長	副士長	士		
消 防 本 部	消 防 長		1							1
	次 長			2						[1]1
	消防課長								1	1
	課長補佐			1						1
	庶 務 係				3				1	4
	警 防 係			1	1					[1]1
	予 防 係				2	1				3
	保 安 係				1	1				2
消 防 署	署 長			1						[1]
	主 幹			1						1
	署長補佐			1						4
	消 防 係			2	5	7	5			[2]17
	救 助 係				3	2	5			10
	救 急 係			1	3	5	2			[1]10
	指 令 係			1	1	2				[1]3
分 署	署 長			1						1
	署長補佐			2						2
	消 防 係			1	3	4	3	1		[1]11
	救 急 係			1	4	3	2			[1]10
合 計			1	16	26	25	17	1	2	83

[]:兼務

勤続年階級別消防吏員数

平成19年4月1日

	合計	内女性	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
1 年	0							
2 年	2						1	1
3 年	4	1					4	
4 年	1	1					1	
5 年	1						1	
6 年	0							
7 年	2						2	
8 年	1						1	
9 年	2					2		
10 年	4					1	3	
11 年	4					2	2	
12 年	3					1	2	
13 年	3					3		
14 年	2					2		
15 年	2					2		
16 年	1					1		
17 年	1				1			
18 年	1					1		
19 年	1				1			
20 年	0							
21 年	0							
22 年	2					2		
23 年	1				1			
24 年	2				1	1		
25 年	0							
26 年	4				3	1		
27 年	5				5			
28 年	5			2	2	1		
29 年	2				2			
30 年	3				1	2		
31 年	3			1	2			
32 年	2				2			
33 年	4				1	3		
34 年	3			1	2			
35 年	3				2	1		
36 年	0							
37 年	2			2				
38 年	0							
39 年	1			1				
40 年	3		1	2				
41 年	0							
42 年	1			1				
43 年	0							
44 年	0							
45 年	0							
46 年	0							
47 年	0							
48 年	0							
合計	81	2	1	10	26	26	17	1

消防水利設置状況

消防水利には、消火栓、防火水槽、プールなどの人工水利と、河川、池、海などの自然水利に区別できますが、当市ではその大部分を人工水利で占めています。消火栓は連続的に給水され、かつ、簡便に使用できる反面、配管口径による給水量の制約、断・減水時の取水不能、さらに地震時には配管の破損が懸念されるなどの弱点もあわせもっています。

こうした消火栓の持つ弱点をカバーするためにも、防火水槽などを地域の実情に応じて計画的に整備を図っております。

消 防 水 利 表

平成20年4月1日現在

水利合計	消火栓	防火水槽（公設）		防火水槽（私設）				プール
		防火水槽	うち2次製品（耐震含む）	防火水槽等	防火水槽	うち2次製品（耐震含む）	その他	
816	639	78	24	85	78	34	7	14

※ その他の分類（最沈槽・受水槽・蓄熱槽・排水槽）

※ 河川として元荒川（椿山2丁目地内）を指定

消防自動車配置状況 (消防本部・署)

平成20年4月1日現在

配置	種 別	車 名	型 式	ポンプ 会社名	ポンプ 級別・型式	購入 年月日	備 考
消 防 本 部	指令車	トヨタ	R-ET196V			H8.5	寄 贈 車 贈 セイコーアドバンス
	広 報 指導車	ホンダ	E-RF1			H11.3	
	連絡車	トヨタ	DBA-SNZE141			H19.3	
	連絡車	スズキ	LA-MC22 S			H13.4	寄 贈 車 贈 セイコーアドバンス
	連絡車	スズキ	DBA-MH21 S			H18.7	寄 贈 車 贈 セイコーアドバンス
消 防 署	消防車	イズズ	KC-NKR71 GN	(株)モリタ	A-2級 CD-I型	H9.3	
	水槽付ポンプ車	ヒ ノ	ADG-FD 7 JEWA 改	(株)モリタ	A-2級 I-A型	H18.3	水槽 1100L
	化学車	ヒ ノ	ADG-GD 7 JGWA 改	(株)モリタ	A-2級 II 型	H18.3	水槽 1300L 薬液 500L
	救助 工作車	ヒ ノ	KC-GD1JGBA		II 型	H8.2	
	救急車	ニッサン	E-ALE50 改		高規格	H11.2	
	救急車	トヨタ	CBF-TRH226S		高規格	H19.3	
	資機材 搬送車	マツダ	GE-SYE6T			H14.1	
南 分 署	広 報 指導車	トヨタ	R-ET196V			H8.5	寄 贈 車 贈 セイコーアドバンス
	消防車	ヒ ノ	KK-XZU331M	(株)モリタ	A-2級 CD-I型	H15.3	
	水槽付ポンプ車	ヒ ノ	KK-FD1JEEA 改	(株)モリタ	A-2級 I-A型	H15.11	水槽 1500L
	救急車	トヨタ	TC-VCH32S		高規格	H16.2	

消防相互応援協定

この協定は、消防組織法第39条の規定に基づき、市・町消防本部及び組合消防本部と相互の消防力を活用して災害による被害を最小限に防止することを目的とする。

平成20年4月1日現在

市・町・組合	協定締結年月日	協定内容（災害種別）
久喜地区・白岡町	昭和51年4月1日	久喜地区消防組合・蓮田市・白岡町消防救急相互応援協定（救急）
伊奈町	平成18年11月14日	伊奈町・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
上尾市	平成18年12月1日	上尾市・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
川口市・さいたま市 白岡町・羽生市 久喜地区・加須地区 群馬県館林地区消防組合	平成18年7月1日	東北高速道路管内市町・組合（火災・救急）間の消防相互応援協定
さいたま市	平成18年9月6日	さいたま市・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
埼玉県央広域	平成19年1月1日	埼玉県央広域・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
久喜地区	平成19年2月16日	久喜地区消防組合・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
白岡町	平成19年5月1日	白岡町・蓮田市消防相互応援協定（災害特定なし）
埼玉県下の市町村、 消防の一部事務組合 及び消防を含む一部 事務組合	平成19年7月1日	埼玉県下消防相互応援協定

その他の応援協定

平成20年4月1日現在

締結機関	協定締結年月日	協定内容
埼玉県	平成3年3月29日	埼玉県防災ヘリコプター応援協定
埼玉県鉄道災害消防 活動連絡協議会	平成18年12月1日	鉄道災害における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定
埼玉県	平成19年11月27日	埼玉県と消防機関及び埼玉DMATの災害時等における高速自動車国道等の使用の取扱いに関する協定

平成19年中気象統計

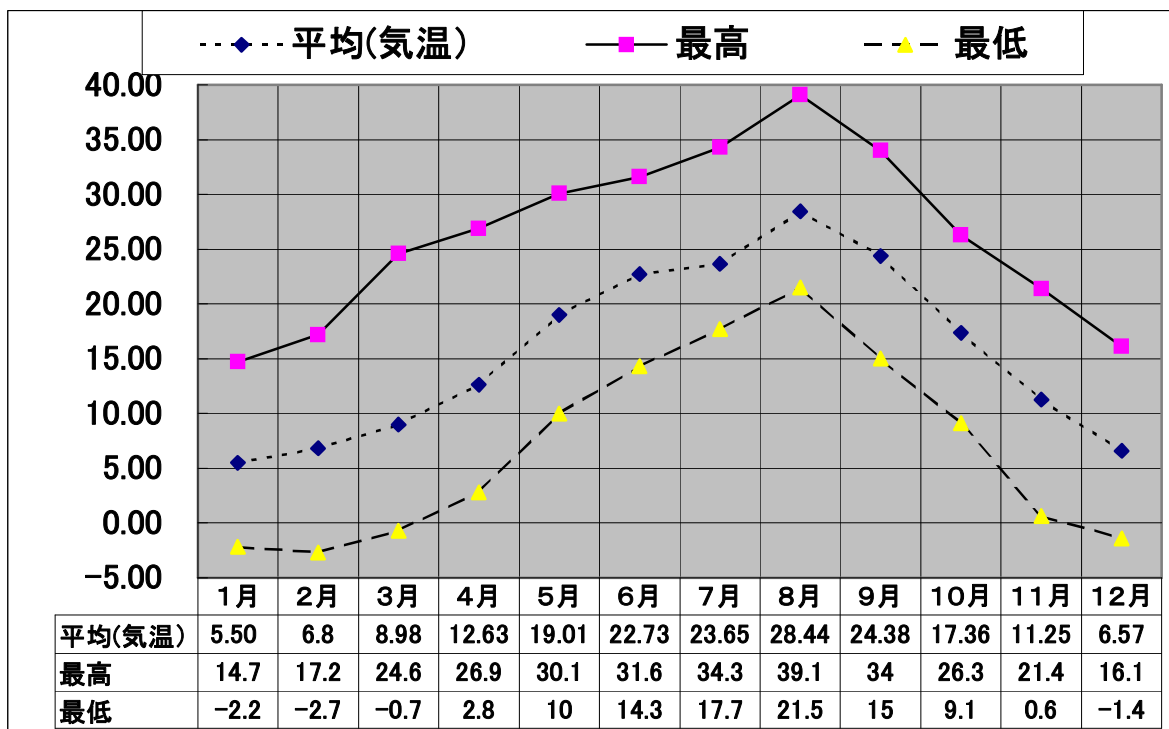
	最高 気温	最低 気温	平均 気温	最大 風速	平均 風速	最高 湿度	最小 湿度	平均 湿度	平均実 効湿度	月総雨 量	快 晴	晴 れ	曇り	雨	雪	霽	日 数
1月	14.7	-2.2	5.50	8	0.9	90	27	55.54	45.93	78.8	8	13	9	1	0	0	31
2月	17.2	-2.7	6.80	6.7	1.4	90	18	52.19	42.70	45.6	12	10	2	4	0	0	28
3月	24.6	-0.7	8.98	8	1.8	89	19	48.94	38.48	33.6	6	11	14	0	0	0	31
4月	26.9	2.8	12.63	6.9	1.5	92	16	64.54	51.48	124.5	4	5	18	3	0	0	30
5月	30.1	10	19.01	7.2	1.5	93	23	62.35	46.04	126.4	6	12	8	5	0	0	31
6月	31.6	14.3	22.73	4.9	1.2	93	24	69.94	57.93	118.3	2	11	14	3	0	0	30
7月	34.3	17.7	23.65	5.4	0.9	94	40	79.03	71.72	186.3	1	3	23	4	0	0	31
8月	39.1	21.5	28.44	7.6	1.1	91	35	78.68	55.96	41.1	5	16	10	0	0	0	31
9月	34	15	24.38	9.8	1.2	93	40	75.17	65.87	236.5	2	6	18	4	0	0	30
10月	26.3	9.1	17.36	4	0.6	94	33	71.61	60.84	169	3	14	11	3	0	0	31
11月	21.4	0.6	11.25	5.4	0.4	91	27	64.87	53.24	51.9	13	5	11	1	0	0	30
12月	16.1	-1.4	6.57	5.8	0.5	91	25	64.32	53.80	84.4	9	9	11	2	0	0	31
年合 計										1296.4	71	115	149	30	0	0	365
年平 均	26.36	7.00	15.61	6.64	1.1	91.75	27.25	65.60	53.67	108.03							

平成19年中 各注意報 ・ 警報等発令状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
警 報	暴風警報									1				1
	暴風雪警報													0
	大雨警報						1		1	2				4
	洪水警報						1	2	1	2				6
	雷警報													0
	大雪警報							2						2
計		0	0	0	0	0	2	4	2	5	0	0	0	13
注 意 報	風雪注意報													0
	強風注意報	1	11	20	4	3		1		1		2	3	46
	大雨注意報	1				4	3	4	6	7				25
	洪水注意報						2	2	2	5				11
	大雪注意報													0
	雷注意報		3	8	14	16	11	9	12	3	3	1	1	81
	乾燥注意報	10	21	40	2	11						1		85
	濃霧注意報	1	2		3			3						9
	霜注意報			5	10									15
	高温注意報													0
	低温注意報													0
	着雪注意報													0
計		13	37	73	33	34	16	19	20	16	3	4	4	272
情 報	大雨に関する気象情報	1				3							1	5
	台風に関する気象情報							9		20				29
	梅雨に関する気象情報						1		1					2
	大雪に関する気象情報													0
	雷に関する気象情報													0
	洪水に関する気象情報													0
	低気圧に関する気象情報													0
	高温に関する気象情報								11					11
	低温に関する気象情報													0
	雪に関する気象情報												3	3
	強風に関する気象情報													0
	雷と降雹に関する気象情報				4	6								10
	雷雨に関する気象情報													0
	小雨に関する気象情報								1				1	2
	雷と雨に関する気象情報													0
	日照不足に関する気象情報							1						1
	黄砂に関する気象情報					2								
	大雨と雷に関する気象情報	3					9	13	4				1	30
計		4	0	0	4	11	10	23	17	20	0	0	6	93

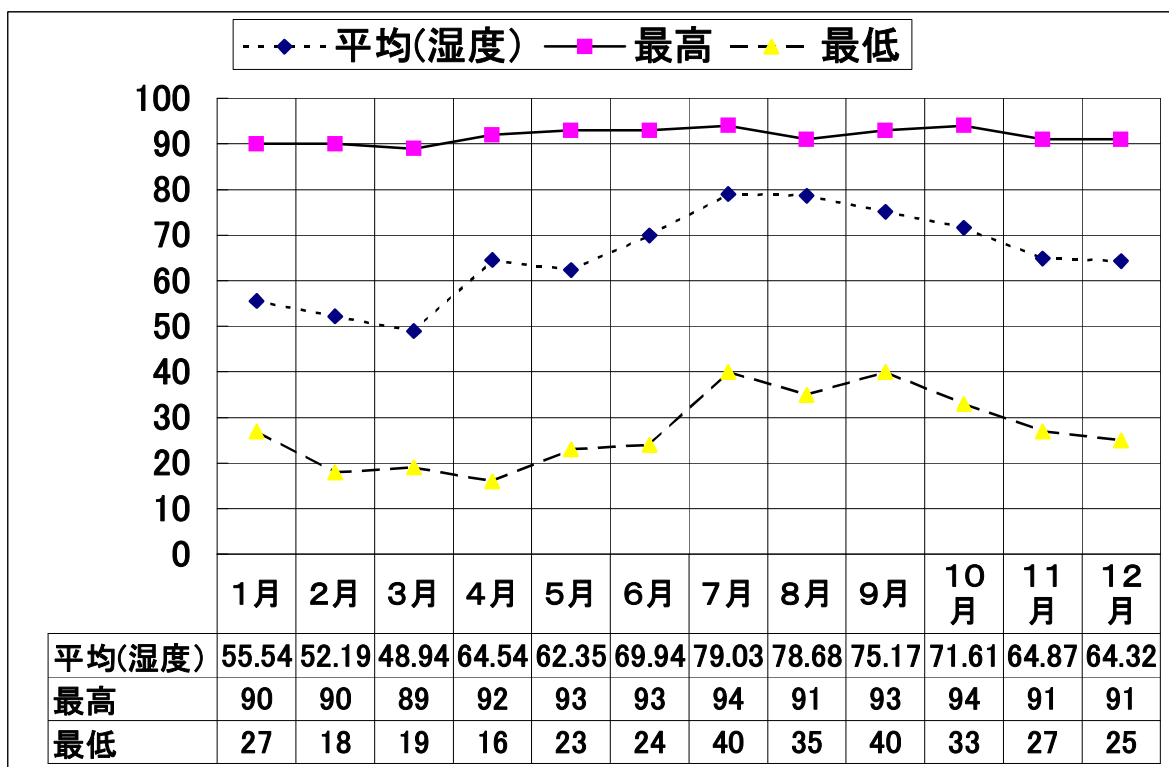
気 温

平成19年中



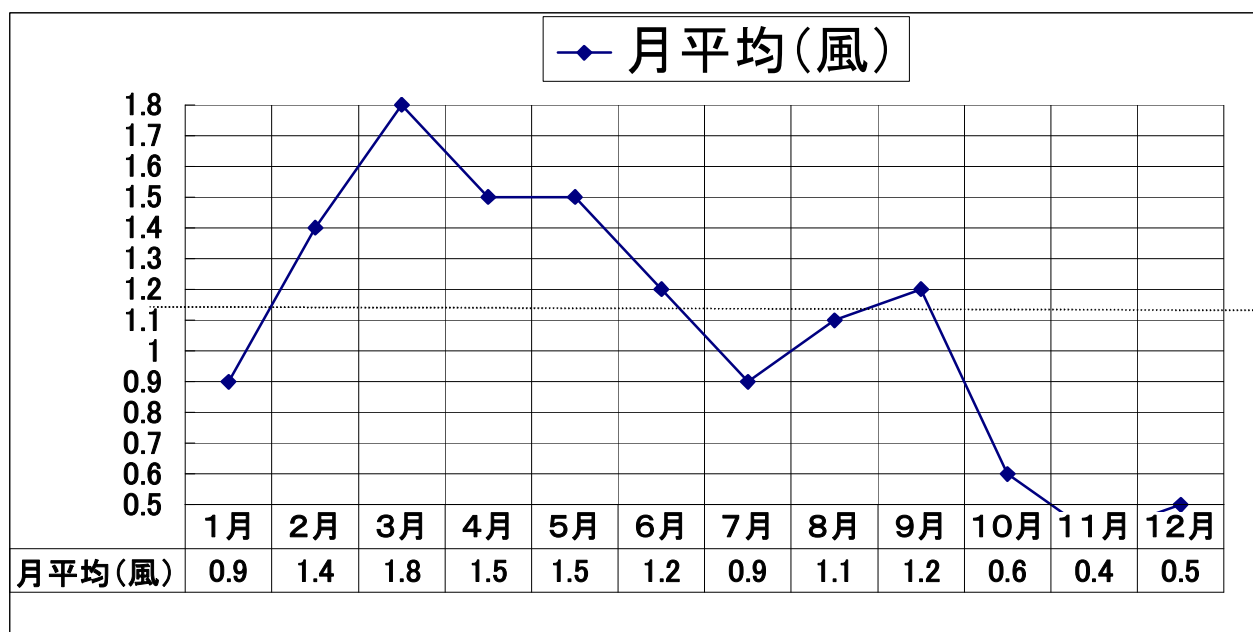
湿 度

平成19年中



風 速

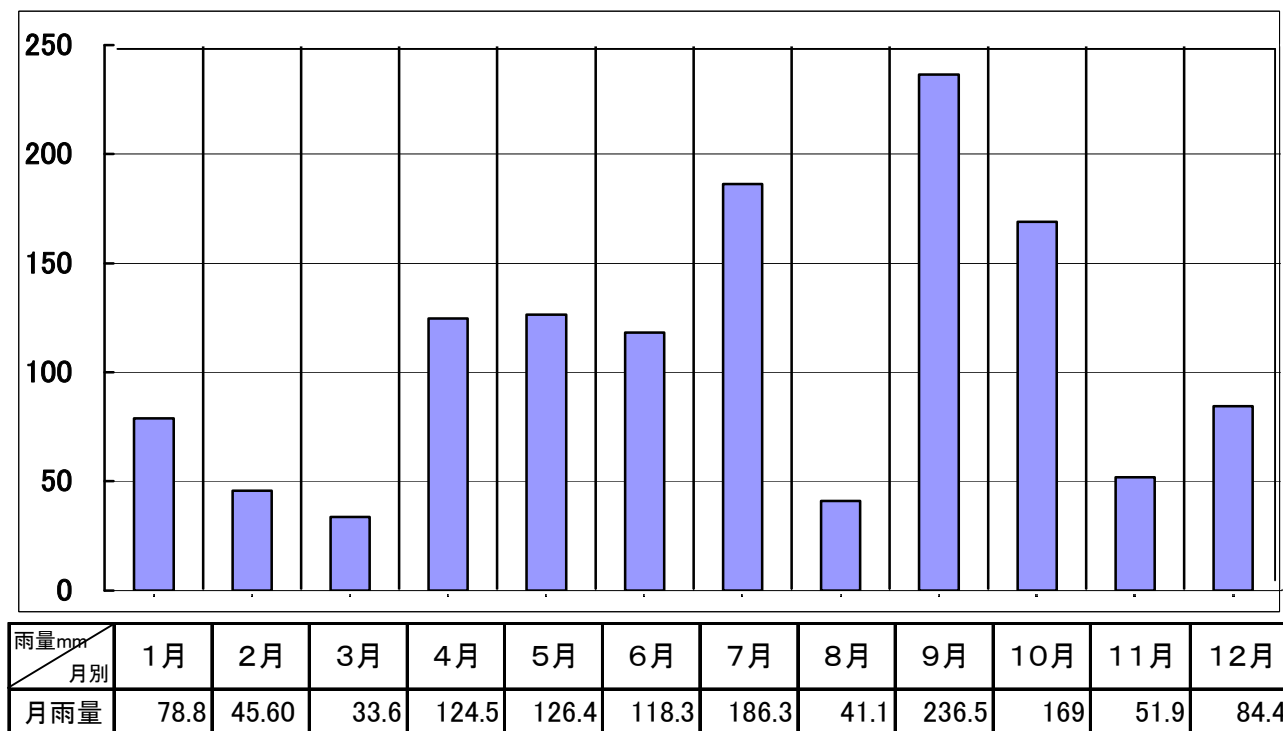
平成19年中



----- 平均風速

雨 量

平成19年中



予防・保安関係

火災発生状況

平成18年～平成19年

年度増減 区分		平成19年 (件)	平成18年 (件)	増減 (件)	増減率 (%)
火 災 発 生 件 数		28	22	6	27
種 別	建 物 火 災	13	14	△ 1	△ 7
	車 両 火 災	2	2	0	0
	そ の 他 火 災	13	6	7	117
負 傷 者		5	6	△ 1	△ 17
死 者		0	0	0	0
焼 損 表 面 積 (m ²)		53.79	4.61	49	1067
焼 損 床 面 積 (m ²)		295.96	335.47	△ 40	△ 12
焼 損 棟 数		14	18	△ 4	△ 22
火 元 焼 損 区 分	全 焼	3	3	0	0
	半 焼	0	1	△ 1	△ 100
	部 分 焼	6	3	3	100
	ぼ や	4	7	△ 3	△ 43
延 焼 に よ る 棟 数		1	18	△ 17	△ 94
罹 災 世 帯		4	9	△ 5	△ 56
罹 災 人 員		9	28	△ 19	△ 68
損 害 額	建 物 (千円)	19,032	9,394	9,638	103
	内容物 (千円)	2,403	9,531	△ 7,128	△ 75
	その他 (千円)	360	255	105	41
	合 計 (千円)	21,795	19,180	2,615	14
出 火 原 因	放火(疑い含む)	1	1	0	0
	た ば こ	2	1	1	100
	こ ん ろ	1	4	△ 3	△ 75
	そ の 他	16	12	4	33
	不 明	8	4	4	100

- (注) 1 △は負数を表します。
 2 増減率は、表示単位未満を四捨五入しています。
 3 出火原因のその他とは、放火(疑い含む)・たばこ・こんろ・不明以外の原因をいう。

月別火災発生状況

平成19年中

月別 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災発生件数		1	4	2	3	1	5	1		3	2	3	3	28
種別	建物火災			1	3	1		1		3	1	3		13
	車両火災										1		1	2
	その他火災	1	4	1			5						2	13
負傷者				1				2		2				5
死者														
焼損表面積 (㎡)					10.67	1.32		3		29.8		9		53.79
焼損床面積 (㎡)				60.9		31.28					198	5.78		295.96
焼損棟数				1	3	2		1		3	1	3		14
火元焼損区分	全焼			1		1					1			3
	半焼													
	部分焼				1			1		2		2		6
	ぼや				2					1		1		4
延焼による棟数						1								1
延焼棟焼損区分	全焼													
	半焼													
	部分焼													
	ぼや					1								1
罹災世帯					1	1		1		1				4
	全損													
	半損													
	小損				1	1		1		1				4
罹災人員					3	1		2		3				9
損害額	建物(千円)			80	1,112	720				5,076	11,934	110		19,032
	内容物(千円)			309	329	231				1,142	392			2,403
	その他(千円)					360								360
	合計(千円)			389	1,441	1,311				6,218	12,326	110		21,795

主な出火原因の月別火災発生状況

平成19年中

区分 \ 月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災発生件数		1	4	2	3	1	5	1		3	2	3	3	28
種別 主な出火原因別	建築物火災			1	3	1		1		3	1	3		13
	車両火災										1		1	2
	その他火災	1	4	1			5						2	13
	枯草・ごみ等の焼却中の延焼・焼却の不始末	1					3						1	5
	溶断・溶接・研磨等作業中の火花			1	1							2		4
	タバコ		1										1	2
	オイル漏洩										1	1		2
	ガスコンロ							1						1
	電気関係									1				1
	塵芥車												1	1
	かまど				1									1
	放火(疑い含む)						1							1
	その他				1					1				2
	不明		3	1		1	1			1	1			8

主な出火原因別火災発生状況

平成19年中

区 原因別		種別(件)				焼損棟数(棟)					り災世帯	り災人員	死傷者(人)	
		合計	建物	車両	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや			死者	負傷者
主な出火原因別	枯草・ごみ等の焼却中の延焼・焼却の不始末	5			5									
	溶断・溶接・研磨等作業中の火花	4	4			4	1		2	1				1
	タバコ	2			2									
	オイル漏洩	2	1	1		1				1				
	ガスコンロ	1	1			1			1		1	2		2
	電気関係	1	1			1			1					
	塵芥車	1		1										
	かまど	1	1			1			1		1	3		
	放火(疑い含む)	1			1									
	その他	2	2			2				2				2
	不明	8	3		5	4	2		1	1	2	4		

地域別出火件数

平成19年中

地区 区分		綾瀬	井沼	閨戸	江ヶ崎	御前橋	貝塚	上	上平野	川島	黒浜
火災発生件数				4						1	10
種別	建物火災			1							4
	車両火災										1
	その他火災			3						1	5
地区 区分		駒崎	桜台	笹山	城	末広	関山	高虫	椿山	西新宿	西城
火災発生件数		1			1			3		1	
種別	建物火災	1						2		1	
	車両火災										
	その他火災				1			1			
地区 区分		根金	蓮田	東	本町	馬込	緑町	南新宿	見沼町	山ノ内	
火災発生件数		2	1	1		3					
種別	建物火災	2	1	1							
	車両火災					1					
	その他火災					2					

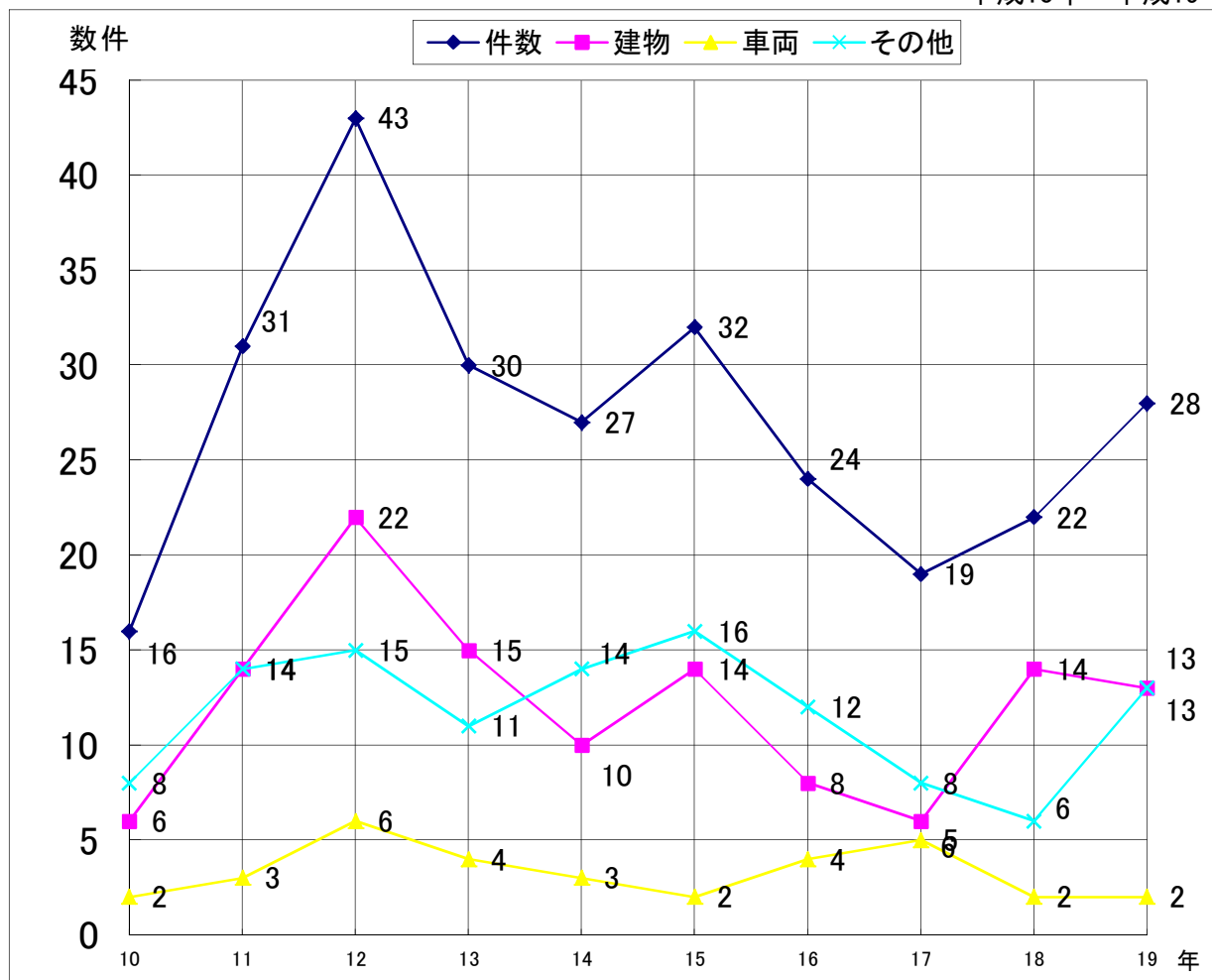
過去5年間ににおける原因別火災発生状況

平成19年中

過去5年間 原因別	放火 (疑い含む)	こんろ	焚き火	たばこ	電気関係	火遊び	ストーブ	風呂釜	スプレー缶	交通事故	落雷	その他	不明
平成19年	1	1		2	1							15	8
平成18年	1	4		1	1				1			10	4
平成17年	3	1		2	2							4	7
平成16年	1	4				1						8	10
平成15年	10	4					1	1	1	2		8	5
合計	15	13	0	3	3	1	1	1	2	2	0	30	26

過去10年間の蓮田市における火災発生件数と推移

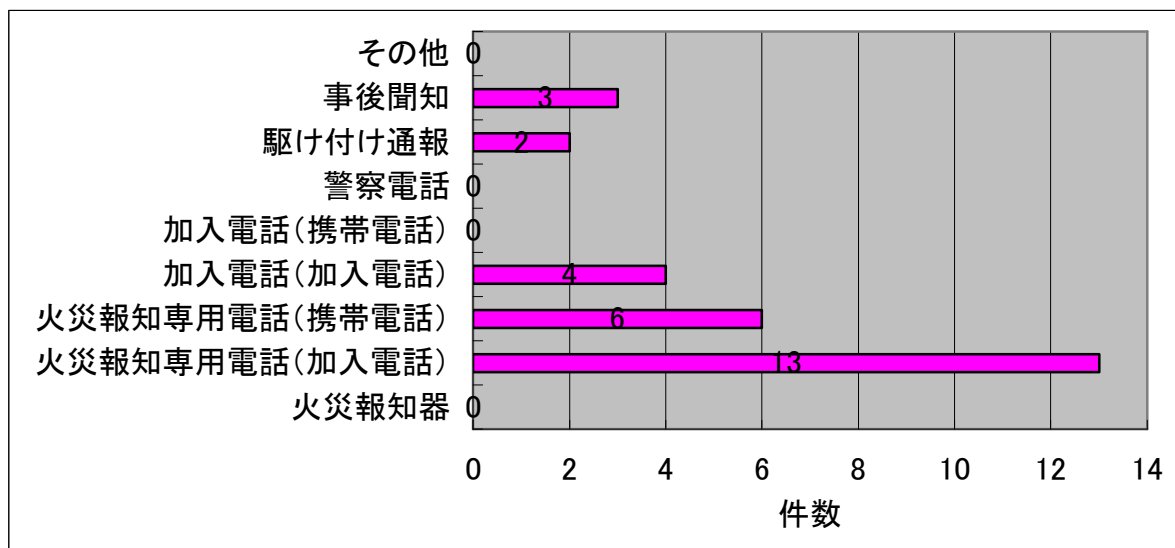
平成10年～平成19年



年別	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
件数	16	31	43	30	27	32	24	19	22	28
建物	6	14	22	15	10	14	8	6	14	13
車両	2	3	6	4	3	2	4	5	2	2
その他	8	14	15	11	14	16	12	8	6	13
損害額 (千円)	115,647	22,604	59,350	149,807	6,131	52,457	29,664	24,976	19,180	21,795
建物	43,125	15,804	45,780	127,142	4,306	41,104	22,854	11,658	9,394	19,032
収容物	72,422	6,248	8,927	14,691	1,805	6,950	4,817	3,400	9,531	2,403
その他	100	552	4,643	7,974	20	4,403	1,993	9,918	255	360
死者	0	0	0	1	2	2	2	0	0	0
負傷者	0	6	4	4	1	5	6	2	6	5

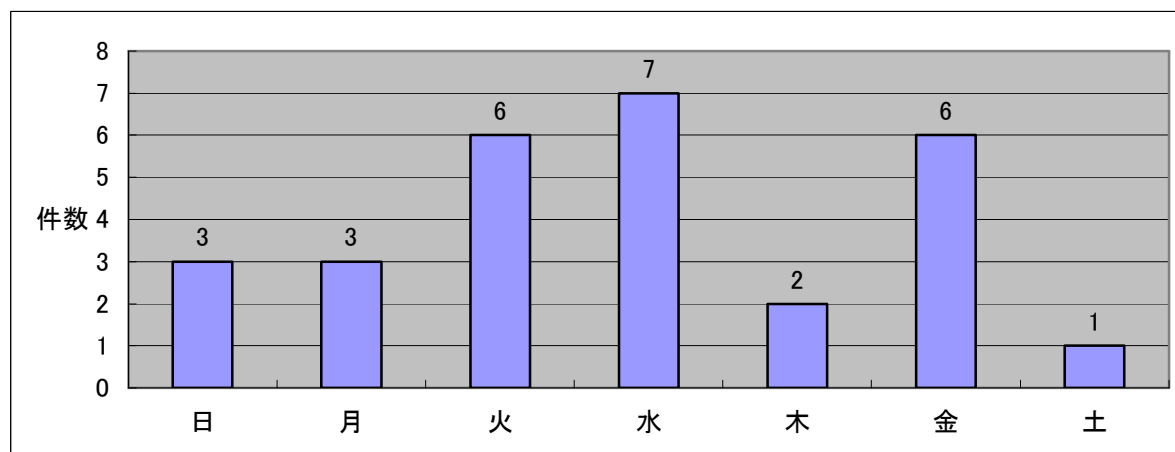
覚知別火災状況

平成19年中



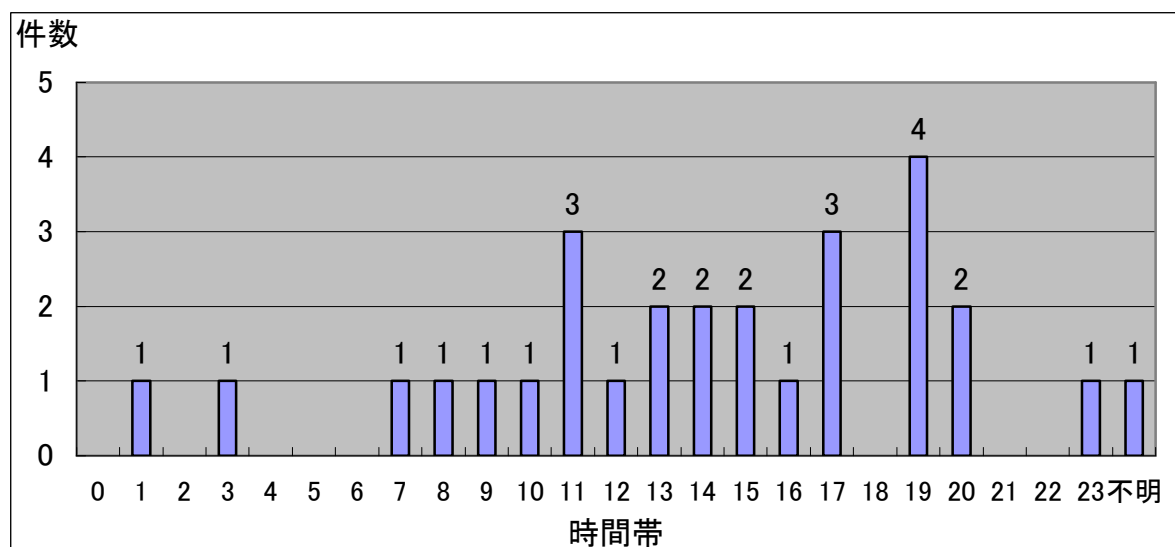
曜日別火災発生状況

平成19年中



時間帯別火災発生状況

平成19年中



防火対象物状況

平成20年3月31日現在

用途		内容		総数		防火管 理者届 出	消防計 画届出	査察
				地下1階 以下	地上5階 以上			
1	イ	劇 場、映画館、演芸場、観覧場						
	ロ	公 会 堂、集 会 場	19			10	8	
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等						
	ロ	遊技場、ダンスホール	6			6	3	3
	ハ	風俗営業等						
3	イ	待 合、料理店等	4			4	2	
	ロ	飲 食 店	30			30	18	
4		百貨店、店 舗、マーケット等	76	1		40	31	47
5	イ	旅 館、ホテル、宿泊所	4		2	4	3	1
	ロ	寄宿舍、下 宿、共同住宅	603		24	13	7	
6	イ	病 院、診療所、助産所	41		2	10	6	
	ロ	福祉及び厚生施設等	26		1	23	19	24
	ハ	幼稚園、養護学校等	13			7	6	
7		小、中、高等学校、各種学校	56		1	14	14	
8		図書館、博物館、美術館	2			1	1	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場						
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場						
10		車 両 の 停 車 場 等	2					
11		神 社、寺 院、教 会	14	1		4	1	
12	イ	工 場、作業場	191			25	17	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫、駐車場	14			1		
	ロ	飛行機の格納庫						
14		倉 庫	98			3	2	
15		前各項に該当しない事業場	128	4	1	15	14	
16	イ	特定対象物の複合用途建物	122	2	4	27	13	6
	ロ	イ以外の複合用途建物	50	2	2	3	3	
16の2		地下街						
16の3		準地下街						
17		重要文化財・史跡等						
18		延長50m以上のアーケード						
合 計			1,499	10	37	240	168	81

中高層建築物調

平成20年3月31日現在

用途		階別	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	総数
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場									0
	ロ	公会堂、集会場									0
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等									0
	ロ	遊技場、ダンスホール									0
	ハ	風俗営業等									0
3	イ	待合、料理店等									0
	ロ	飲食店									0
4		百貨店、店舗、マーケット等	1								1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所		2							2
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	10	18	3		2			1	34
6	イ	病院、診療所、助産所	1			2					3
	ロ	福祉及び厚生施設等	1		1						2
	ハ	幼稚園、養護学校等									0
7		小、中、高等学校、各種学校	5	1							6
8		図書館、博物館、美術館									0
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場									0
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場									0
10		車両の停車場等									0
11		神社、寺院、教会									0
12	イ	工場、作業場	2								2
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ									0
13	イ	自動車車庫、駐車場									0
	ロ	飛行機の格納庫									0
14		倉庫									0
15		前各項に該当しない事業場	3	1							4
16	イ	特定対象物の複合用途建物	7	3	1						11
	ロ	イ以外の複合用途建物	3	1	1						5
16の2		地下街									0
16の3		準地下街									0
17		重要文化財・史跡等									0
18		延長50m以上のアーケード									0
合 計			33	26	6	2	2	0	0	1	70

用途別消防同意状況

平成19年度

用途		種別	新築	増築	改築	移転	修繕	模様替	用途変更	その他	合計
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場									0
	ロ	公会堂、集会場									0
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等									0
	ロ	遊技場、ダンスホール									0
	ハ	風俗営業等									0
3	イ	待合、料理店等									0
	ロ	飲食店	1								1
4		百貨店、店舗、マーケット等	4								4
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所									0
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	13								13
6	イ	病院、診療所、助産所	1								1
	ロ	福祉及び厚生施設等	3	3							6
	ハ	幼稚園、養護学校等		2							2
7		小、中、高等学校、各種学校		1							1
8		図書館、博物館、美術館									0
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場									0
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場									0
10		車両の停車場等									0
11		神社、寺院、教会		1							1
12	イ	工場、作業場		3							3
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ									0
13	イ	自動車車庫、駐車場									0
	ロ	飛行機の格納庫									0
14		倉庫	5	5	1						11
15		前各項に該当しない事業場	6	3							9
16	イ	特定対象物の複合用途建物	1								1
	ロ	イ以外の複合用途建物									0
16の2		地下街									0
16の3		準地下街									0
17		重要文化財・史跡等									0
18		延長50m以上のアーケード									0
専用住宅			4								4
長屋			13								13
その他											0
合計			51	18	1	0	0	0	0	0	70

防火管理者資格取得講習会実施状況

平成19年度

年度	種別	甲 種 防 火 管 理 講 習		再 講 習	
		回 数	修 了 者 数	回 数	修 了 者 数
平成15年度		2 回	40 人		
平成16年度		2 回	39 人		
平成17年度		2 回	38 人		
平成18年度		2 回	35 人	1 回	8 人
平成19年度		2 回	37 人	1 回	6 人

訓練及び広報活動等状況

消防訓練

平成19年度

種別	回数・人	延 べ 訓 練 回 数	235 回
		延 べ 訓 練 参 加 人 数	11980 人
消 火 訓 練	訓 練 回 数	75 回	
	参 加 人 数	5625 人	
避 難 訓 練	訓 練 回 数	79 回	
	参 加 人 数	4120 人	
通 報 訓 練	訓 練 回 数	60 回	
地震・煙体験・救出救護訓練など その他の訓練	訓 練 回 数	21 回	
	参 加 人 数	2235 人	

* 消防本部に届出のあったものです。

* 市内の自主防災組織、自治会で届出のあったものを含みます。

広報活動

平成19年度

種別	対象	件数
消防車による巡回広報活動	市 内 全 域	76 回 26 時間 21 分
火 災 予 防 啓 蒙 活 動	一 般	まつり 1 回 火災予防PR 2 回
住 宅 用 火 災 警 報 器 PR 活 動	一 般	対象物等 2 回 600 人 その他 6 回 429 人

住宅防火

平成19年度

住 宅 防 火 P R	独 居 ・ 老 夫 婦 世 帯	10 回 101 世帯
-------------	-----------------	----------------

消防用設備等着工届出・設置届出状況

平成19年度

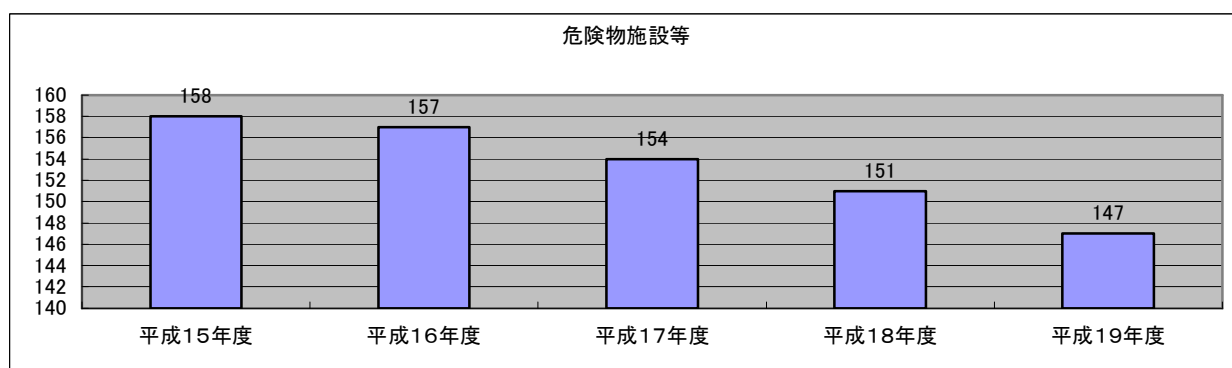
設 備 名			着 工 届 出	設 置 届 出
消防の用に供する設備	消防用設備等	消 火 器		26
		屋 内 消 火 栓 設 備	2	2
		ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	3	6
		水 噴 霧 等 消 火 設 備		
		泡 消 火 設 備		
		不 活 性 ガ ス 消 火 設 備		
		ハ ロ ン 化 物 消 火 設 備		
		粉 末 消 火 設 備	2	1
		屋 外 消 火 栓 設 備		
		動 力 消 防 ポ ン プ 設 備		
	警報設備	自 動 火 災 報 知 設 備	16	28
		ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備		
		漏 電 火 災 警 報 設 備		
		消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	3	3
		非 常 警 報 設 備		9
	避難設備	避 難 器 具	2	2
		誘 導 灯		16
	消防用水			
	消火活動上必要な施設	排 煙 設 備		
		連 結 散 水 設 備		
		連 結 送 水 管		1
		非 常 コ ン セ ン ト 設 備		1
		無 線 通 信 補 助 設 備		
	必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備		
		パ ッ ケ ー ジ 型 自 動 消 火 設 備		

消防法令・火災予防条例等に基づく防火対象物関係届出件数

平成19年度

届 出 項 目	件 数
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出	32
消 防 用 設 備 等 着 工 届 出	28
消 防 用 設 備 等 設 置 届 出	95
消 防 用 設 備 等 点 検 報 告	232
防 火 管 理 者 選 (解) 任	48
消 防 計 画 作 成 (変 更 含 む) 届 出	59
共 同 防 火 管 理 協 議 事 項	2
防 火 対 象 物 定 期 点 検 結 果 報 告	10
防 火 対 象 物 点 検 報 告 特 例 認 定 申 請 書	1
消 防 用 設 備 等 の 特 例 基 準 適 用 申 請	1
火 災 と ま ぎ ら わ し い 届 出	22
煙 火 打 ち 上 げ	1
発 電 設 備	2
変 電 設 備	9
蓄 電 池 設 備	5
炉・ボイラー設備設置届出	3
催 物 開 催 届 出	2
給 湯 湯 沸 設 備 設 置 届 出	1
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請	4
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 い 届 出	8
液 化 石 油 ガ ス	16
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 い 届 出	13

危険物施設等の過去5年の推移



危険物類別施設数

平成20年3月31日現在

区分 \ 種別		第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	混在	合計
製造所	製造所				3			1	4
	屋内貯蔵所				17			2	19
	屋外貯蔵所				5				5
	屋内タンク貯蔵所								0
	屋外タンク貯蔵所				32				32
	地下タンク貯蔵所				29				29
	移動タンク貯蔵所				11				11
	合計	0	0	0	143	0	0	4	147
取扱所	給油取扱所				23				23
	一般取扱所				23			1	24
合計		0	0	0	143	0	0	4	147

危険物関係手数料内訳

平成20年3月31日現在

区分 \ 内容		許可		完成検査		タンク検査		扱貯仮 承蔵使 認取用	合計
		設置	変更	設置	変更	水圧	水張		
製造所			38,500		19,250			5,400	63,150
貯蔵所	屋内貯蔵所		52,000		26,000			10,800	88,800
	屋外貯蔵所								0
	屋内タンク貯蔵所								0
	屋外タンク貯蔵所								0
	地下タンク貯蔵所					47,600		5,400	53,000
	移動タンク貯蔵所		13,000		6,500				19,500
	合計								
取扱所	給油取扱所		33,000		16,500			5,400	54,900
	一般取扱所	39,000	26,000	19,500	13,000			5,400	102,900
合計		39,000	162,500	19,500	81,250	47,600		32,400	382,250

危険物製造所等の設置許可状況(数量別)

平成20年3月31日現在

区分 倍数別	製造所	貯蔵所						取扱所		合計
		屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	
施設数	4	19	5	0	34	29	11	23	24	149
10倍以下	1	9	1		13	19	8	1	17	69
10倍を超え100倍以下		7	3		13	10	3	8	4	48
100倍を超え200倍以下	1	3	1		4			7	1	17
200倍を超え1000倍以下	2				4			7	2	15
1000倍を超えるもの										0

危険物事務処理状況

平成19年度

区分 内容			製造所	貯蔵所						取扱所		合計
				屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所	
施設数			4	19	5	0	32	29	11	23	24	147
処 理 件 数	許可申請	設置									1	1
		変更	1	2					1	1	1	6
	仮使用等承認申請		1	2				1		1	1	6
	承認件数		1	2				1		1	1	6
	保安監督者選任等届出		4	2			4	4		3	5	22
	完成検査件数		1	2					1	3	2	9
	完成検査済証 交付数	設置									1	1
		変更	1	2					1	3	1	8
	タンク検査申請							2				2
	タンク検査済証 交付数	水張										
		水圧						2				2

救急・救助関係

救急の概要

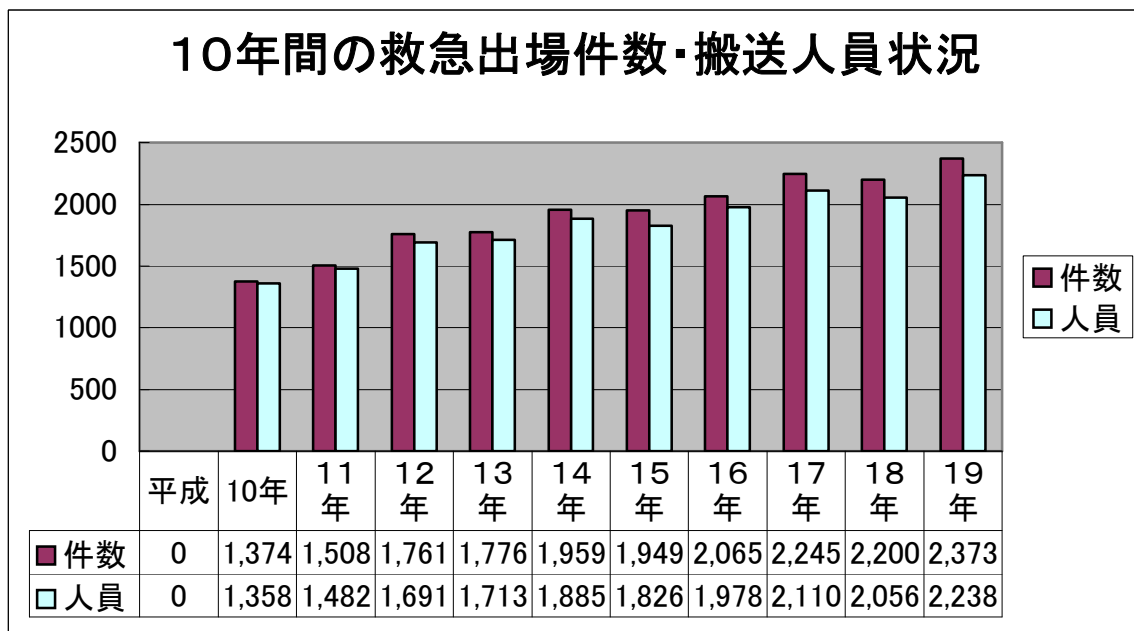
1 救急業務

蓮田市の平成19年の救急出場件数は2,373件（前年2,200件）、搬送人員にあつては2,238人（前年2,056人）であり、平成10年の1,374件と比べ999件（172.7%）の増加となっております。高齢化、疾病構造の変化、在宅患者の増加等、社会環境の変化に伴い潜在的な救急需要は増大している近年では、救急業務は市民にとって必要不可欠な行政サービスとなってきました。

そして市民の生命、身体を守る上で、救急業務をさらに充実強化していくために、高規格救急自動車、医療の進歩にともなう救急資器材の整備、救急救命士・救急隊員の資質の向上また、救急救命士にあつては気管挿管・薬剤投与の処置の拡大、救急隊員には除細動が認められてから現場での処置が高度化し、10月より県内でのドクターヘリ就航により、さらなる救急医療体制の充実化が図られています。

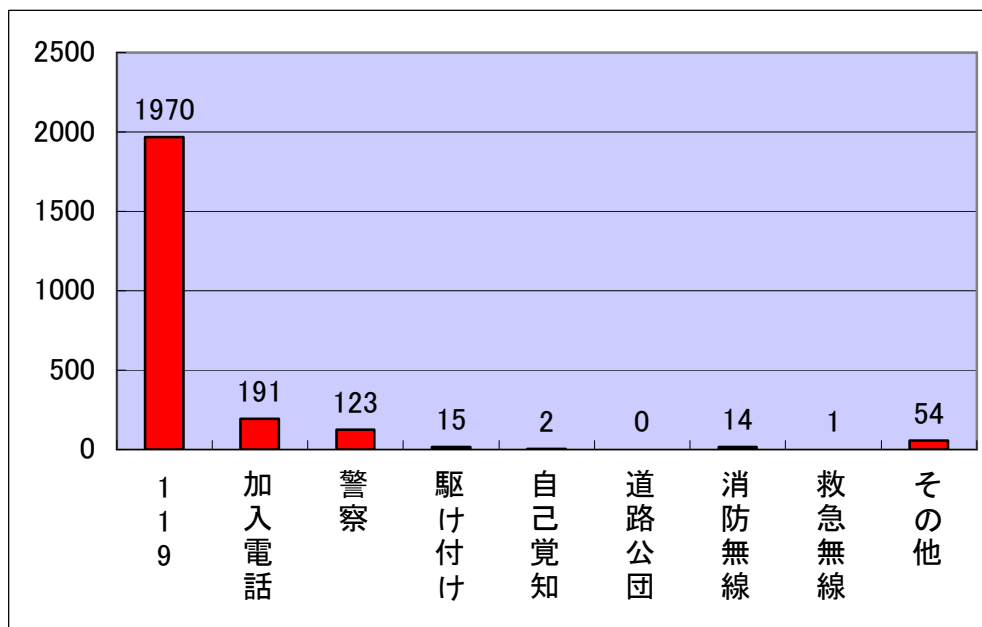
さらには応急手当の普及啓発に積極的に取り組み救命率の向上を目指しています。

2 10年間の救急出場件数・搬送人員状況

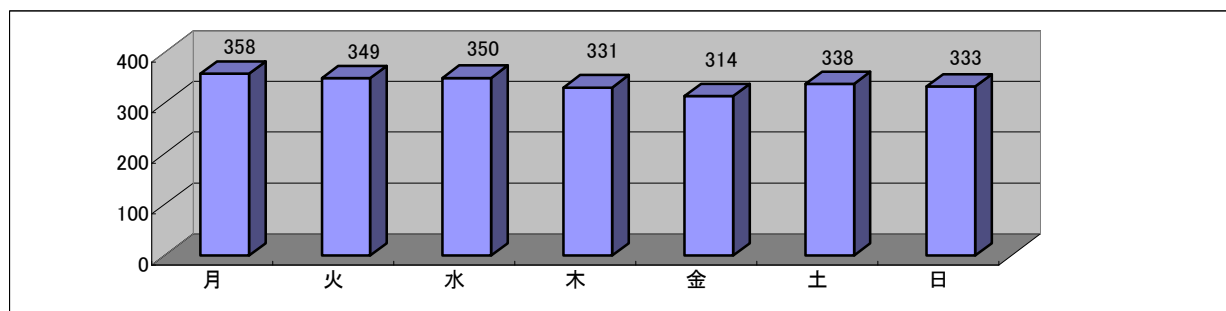


平成	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年
件数	1,374	1,508	1,761	1,776	1,959	1,949	2,065	2,245	2,200	2,373
人員	1,358	1,482	1,691	1,713	1,885	1,826	1,978	2,110	2,056	2,238

3 救急通報手段状況



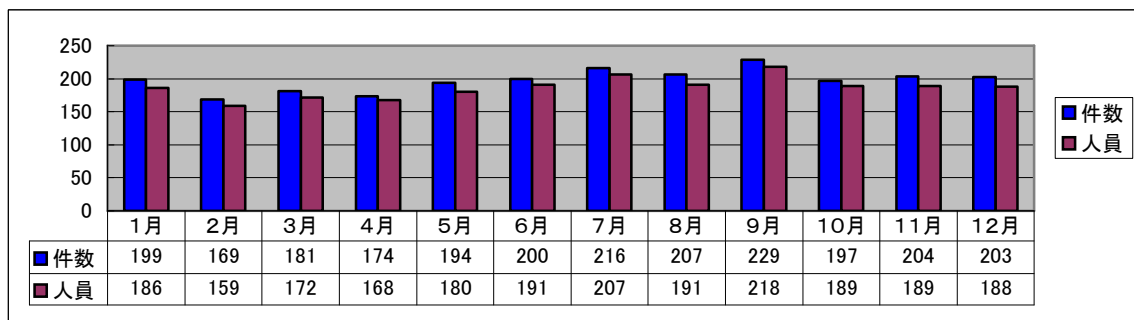
4 曜日別出場状況



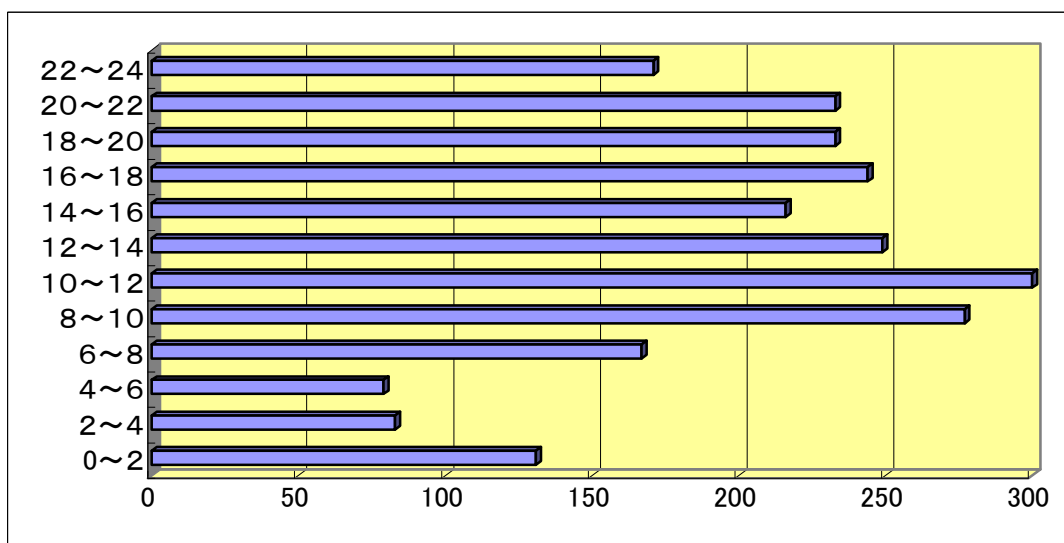
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
曜日別	月	1			49	2	1	31	2	6	234	32	358
	火	4			50	8	1	42	2	4	198	40	349
	水	3		1	35	3	1	36	5	5	229	32	350
	木				53	3		28	2	4	210	31	331
	金	1			48	3	1	31	2	6	178	44	314
	土	1			46	2	1	47	2	4	206	29	338
	日				43		7	46	4	4	212	17	333
	計	10		1	324	21	12	261	19	33	1467	225	2373

5 平成19年中救急出場件数及び搬送人員

		救 急 事 故 種 別											
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
1月	出動件数				27	2	1	21	1	9	121	16	199
	搬送件数				30	2	1	21	1	5	112	14	186
2月	出動件数				26	3	1	16	2	1	100	20	169
	搬送件数				27	3	1	16	2	1	90	19	159
3月	出動件数	1			22	1	2	22	3	1	111	18	181
	搬送件数				23	1	2	22	2		104	18	172
4月	出動件数	1			32	2	2	10		1	106	20	174
	搬送件数				33	2	2	10		1	101	19	168
5月	出動件数				23	2	1	17	1	3	124	23	194
	搬送件数				24	2	1	14	1	3	114	21	180
6月	出動件数	1			25	1	1	20	3	3	128	18	200
	搬送件数				28	1	1	20	3	3	118	17	191
7月	出動件数	1		1	33	3	1	23	1	2	135	15	216
	搬送件数	2			34	3	1	22		2	128	15	207
8月	出動件数				25			17	3	4	147	11	207
	搬送件数				25			16	3	2	135	10	191
9月	出動件数	2			35	4	2	31	2	1	132	20	229
	搬送件数	2			43	4	2	29	2		116	20	218
10月	出動件数	2			31			31		3	113	17	197
	搬送件数				31			30		2	109	17	189
11月	出動件数	1			26	1		29	1		124	22	204
	搬送件数				27	1		28			111	22	189
12月	出動件数				19	2	1	24	1	5	126	25	203
	搬送件数				20	1	1	21	1	2	117	25	188
合計	出動件数	10		1	324	21	12	261	19	33	1467	225	2373
	搬送件数	4			345	20	12	249	15	21	1355	217	2238



6 時間別出場件数



		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
合計		10		1	324	21	12	261	19	33	1467	225	2373
時間別内訳	0~2				5	1		7	4	1	109	4	131
	2~4				4			6		3	67	3	83
	4~6				9			6	1		63		79
	6~8				31	3		11		4	116	2	167
	8~10			1	38	1		27		4	175	31	277
	10~12	1			48	5	4	44	1	2	141	54	300
	12~14				27	3	1	25		3	150	40	249
	14~16	2			31	6	3	28	1	3	117	25	216
	16~18	2			35	1	3	22		5	134	42	244
	18~20	3			41	1		31	4	2	137	14	233
	20~22	2			34		1	35	4	3	137	7	223
	22~24				21			19	4	3	121	3	171

7 現場滞在時間数

現場滞在時間	30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 90分未満	90分以上 120分未満	120分以上
出場件数	2162	193	14	2	2

8 事故種別傷病程度別搬送状況

事故種別 程度別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡									2	30		32
重症				12	3		14		2	140	56	227
中等症	2			48	8	2	72	1	6	566	143	848
軽症	2			285	9	10	162	14	10	616	18	1126
その他							1		1	3		5
計	4			345	20	12	249	15	21	1355	217	2238

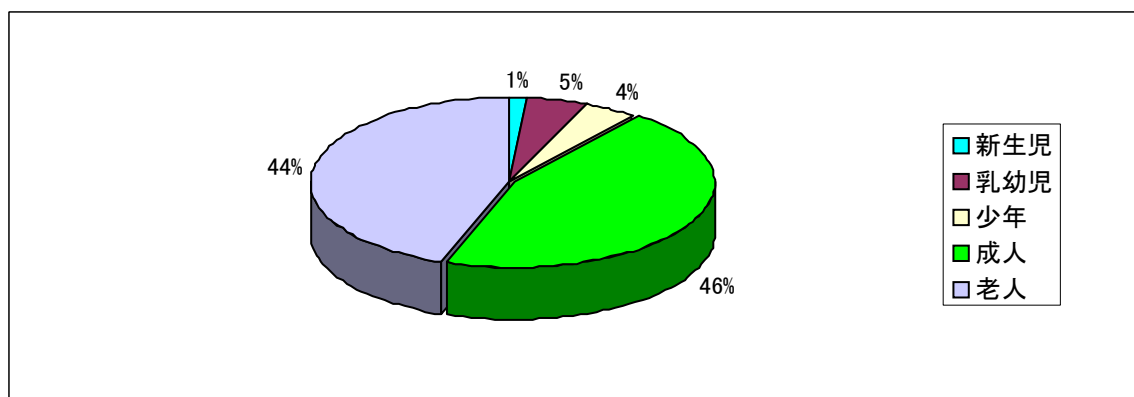
9 事故種別年齢区分別搬送人員

事故種別 年齢別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児											28	28
乳幼児	1			10			37			62	3	113
少年				44		2	24		2	24	2	98
成人	3			232	19	10	62	13	18	570	77	1004
老人				59	1		126	2	1	699	107	995
計	4			345	20	12	249	15	21	1355	217	2238

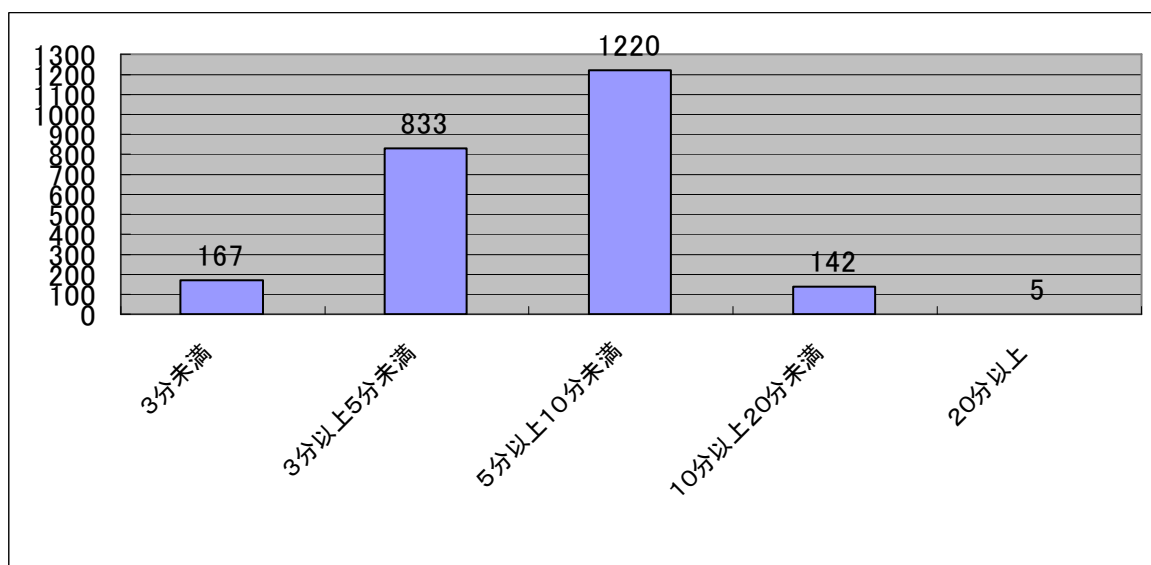
年齢区分は次のとおり分類する

- ・ 新生児 生後 28 日未満の者
- ・ 乳幼児 生後 28 日以上満 7 歳未満の者
- ・ 少年 満 7 歳以上満 18 歳未満の者
- ・ 成人 満 18 歳以上満 65 歳未満の者
- ・ 老人 満 65 歳以上の者

10 年齢別搬送人員割合



1 1 現場到着所要時間別出場件数



1 2 急病にかかる疾病分類搬送人員

疾病分類 傷病程度	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	合計
	脳疾患	心疾患									
死亡	1	8							1	20	30
重症	45	21	4	15	1	3	3	9	6	33	140
中等症	58	35	58	52	18	9	16	7	54	259	566
軽症	13	27	37	22	61	10	30	3	62	351	616
その他									1	2	3
合計	117	91	99	89	80	22	49	19	124	665	1355

1 3 病院別搬送人員

	市内への搬送	市外への搬送	県外への搬送	合 計
病 院	8 8 5	1 2 9 0	1 9	2 1 9 4
診 療 所	2 8	7		3 5
そ の 他 の 施 設	7	2		9
合 計	9 2 0	1 2 9 9	1 9	2 2 3 8

1 4 不搬送件数

	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その 他	計
緊急性なし				1	1		1	1		8		1 2
傷病者なし	6			2			1	2		1 0		2 1
拒否			1	1 0			8	1		2 9	1	5 0
酩酊										1 1		1 1
死亡				1					7	1 8		2 6
現場処置	1			3			3		2	2 3		3 2
誤報・いたずら	1			1					1	1 2	3	1 8
その他				3					2	4	4	1 3
計	8		1	2 1	1		1 3	4	1 2	1 1 5	8	1 8 3

1 5 救急支援活動状況

救急支援とは、救急現場の状況に応じて、消防車や救助工作車が同時に出動して、救急活動の支援を行うものです。

救急支援は、心肺機能停止あるいはその疑いがあると思われる救急要請があった場合、建物の2階以上で発生した傷病者または、駅やサービスエリアで発生した傷病者で通報状況から救急車収容まで時間を要すると予測される場合、二次災害防止として幹線道路の交通事故や加害事故等により現場が不穏な状況にあると予測される場合等で出場しています。

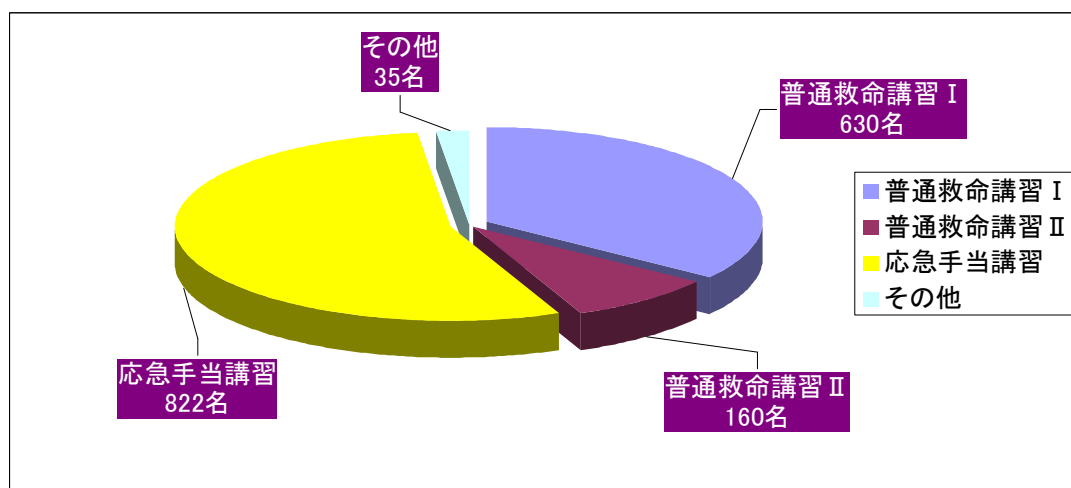
救急支援により、高度化する救急処置の中で、救急隊の安全な活動が可能となり、又マンパワーの増員により現場の滞在時間が短縮されるなど、必要性は今後ますます高まっていくと思われます。

事故種別	急病	交通	一般	運動	加害	自損	労災	その他	合計
出場件数	293	129	21	1	6	16	2	3	471

1 6 応急手当普及啓発活動

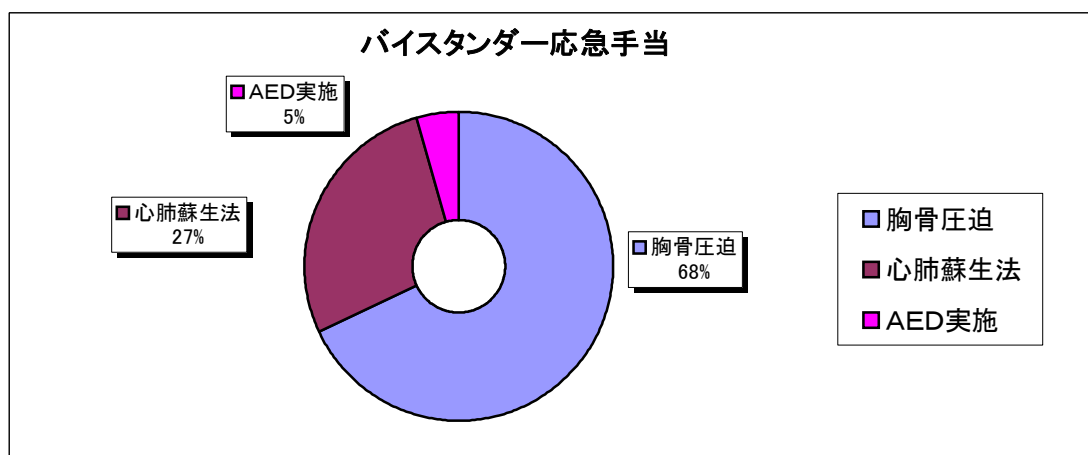
早い〔119番通報〕、〔応急手当〕、〔救急処置〕、〔救命医療〕の四つの要素をつなげて命を助けることを救命の連鎖といい、どれか一つが欠けても救命のチャンスは少なくなってしまう。このうちの二つはバイスタンダー（現場に居合わせた人）にかかっているため、市民ひとりひとりが救命のリレーをスタートできるように応急手当の重要性を理解し、技術を覚えていただくように応急手当普及啓発活動を図っていきます。平成19年に開催された普通救命講習会・応急手当講習会の開催数は、76回で、受講者数は、1,612名でした。

普通救命講習会・応急手当講習会受講者数



＊ 普通救命講習Ⅱは、業務の内容や活動領域の性格から一定の頻度で心肺停止者に対して応急の対応が期待・想定される方を対象とした講習会です。

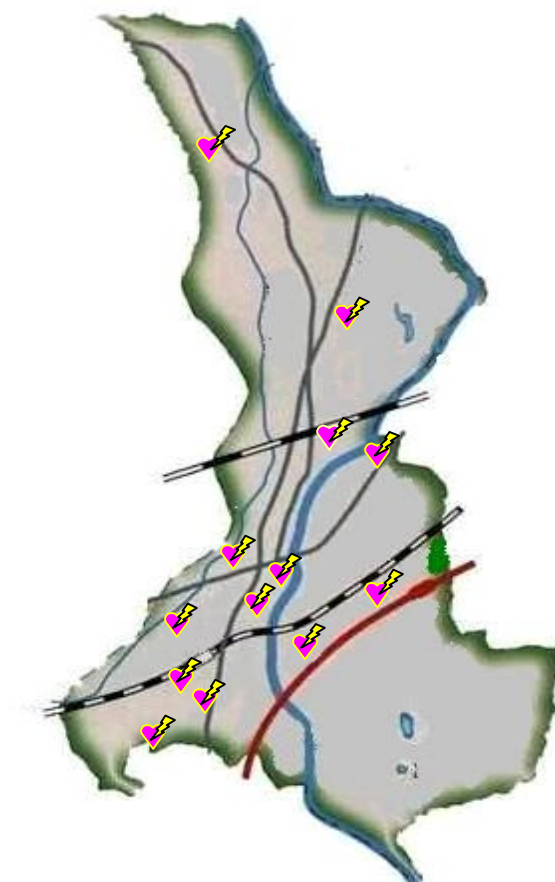
1 7 CPA時のバイスタンダー応急手当実施割合



1 8 蓮田市内の公共施設の A E D の設置場所と台数

- ①農業者トレーニングセンター
- ②コミュニティセンター
- ③総合体育館
- ④環境センター
- ⑤消防本部
- ⑥中央公民館関山分館
- ⑦市役所
- ⑧図書館
- ⑨保健センター
- ⑩勤労青少年ホーム
- ⑪中央公民館
- ⑫消防署南分署
- ⑬老人福祉センター

※ハートマークは、北から①番より記載



平成19年中 救助出動件数

月別	種 別	救 助 出 動 件 数									
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 酸 欠 事 故 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
1月	出動件数		2				1				3
	活動件数		2				1				3
	救助人員		2				1				3
2月	出動件数		1							1	2
	活動件数		1							1	2
	救助人員		1							1	2
3月	出動件数						2				2
	活動件数						2				2
	救助人員						1				1
4月	出動件数	1									1
	活動件数	1									1
	救助人員										0
5月	出動件数	1									1
	活動件数	1									1
	救助人員	2									2
6月	出動件数						1				1
	活動件数						1				1
	救助人員						1				1
7月	出動件数		2	1			1				4
	活動件数		2	1			0				3
	救助人員		2	1			0				3
8月	出動件数		3								3
	活動件数		3								3
	救助人員		3								3
9月	出動件数	1	1				1				3
	活動件数	1					1				2
	救助人員						1				1
10月	出動件数	1	3								4
	活動件数		3								3
	救助人員		1								1
11月	出動件数	1									1
	活動件数	1									1
	救助人員										0
12月	出動件数						1				1
	活動件数						1				1
	救助人員						1				1
総出動件数(件)		5	12	1	0	0	7	0	0	1	26
総活動件数(件)		4	11	1	0	0	6	0	0	1	23
総救助人員(名)		2	9	1	0	0	5	0	0	1	18

消防団関係

消防団の概要

現在蓮田市消防団は、市内在住及び在勤の郷土愛溢れる 140 名によって 1 本部 6 ヶ分団で構成されています。消防団員は消防職員と異なり、消防以外に仕事を有しているため、火災発生の際には自分の仕事を中断して現場に出動しますし、夜間の就寝中でもサイレンの音で飛び起き、火災現場に駆け付け、消防職員と協力して消火作業に従事します。

消防団員は、皆さんの生命・財産を火災から保護することだけではなく台風や集中豪雨などの風水害や地震等にも出動し、これらの災害による被害の軽減に努めています。

また、災害のないときも、火災予防活動や機械器具の点検・消火栓等の調査などを実施し災害に備え万全を期しています。

消防団の主な行事（平成 19 年度）

平成 19 年	4 月	辞令交付式・第 1 回分団長会議 団幹部歓送迎会 消防団基礎教育
	5 月	消防団幹部県外研修
	6 月	第 1 回本部役員会議 第 2 回分団長会議 新入団員消防団基礎教育
	7 月	非常招集訓練（吾亦紅）
	8 月	消防団詰所消毒
	9 月	防災訓練 （中央小学校及び黒浜小学校 2 箇所同時開催）
	10 月	第 2 回本部役員会議 第 3 回分団長会議 消防団員研修会（電気火災について） 新入団員消防団基礎教育
	11 月	消防特別点検
	12 月	第 4 回分団長会議 歳末特別警戒
平成 20 年	1 月	消防出初式
	2 月	消防団基礎教育
	3 月	消防団家族慰安会 消防団中級幹部研修（1 泊 2 日） 第 5 回分団長会議 消防団員健康診断 自治体消防 60 周年記念式典 第 3 分団消防操法大会出場結団式

消防団構成

平成19年6月1日

分団名	規則数	実員数
団本部	4	3
第1分団	26	22
第2分団	25	23
第3分団	26	24
第4分団	25	22
第5分団	25	22
第6分団	26	24
合計	157	140

分団詰所所在地

平成19年4月1日

分団名	所在地	建築延べ面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
第1分団	東5丁目7-2	102.06	393.38
第2分団	上2丁目13-2	102.06	340.01
第3分団	閨戸3978-8	102.06	395.67
第4分団	上平野606-3	66.6	92.56
第5分団	黒浜3834-2	66.6	114.3
第6分団	黒浜1132-3	102.06	248.93

在職年数別消防団員数

平成19年6月1日

在職年数 分団別	計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
本部	3					1	2	
第1分団	22	7	3	5	3	3	1	
第2分団	23	4	8	5	3	3		
第3分団	24	9	10	5	1			
第4分団	22	8	5	6	3			
第5分団	22	3	6	3	7	3		
第6分団	24	4	4	7	6	3		
合計	140	35	36	31	22	13	3	

消防自動車配置状況 (消防団)

平成 20 年 3 月 31 日現在

分団名	車名・型式	ポンプ 会社名	ポンプ級別 型 式	購入年月日
第 1 分団	いすゞ PB-NKR81N	(株) モリタ	A-2 級 ----- CD-I 型	H 1 7. 3
第 2 分団	いすゞ KC-NKR71GN	(株) モリタ	A-2 級 ----- CD-I 型	H 1 0. 1 0
第 3 分団	日野 BDG-XZU334M	(株) モリタ	A-2 級 ----- CD-I 型	H 2 0. 3
第 4 分団	いすゞ KK-NKR71GN	ジーエムいちは ら工業 (株)	A-2 級 ----- CD-I 型	H 1 2. 3
第 5 分団	いすゞ KK-NKR71GN	(株) モリタ	A-2 級 ----- CD-I 型	H 1 4. 2
第 6 分団	いすゞ PB-NKR81N	(株) モリタ	A-2 級 ----- CD-I 型	H 1 9. 3

平成 19 年度全国統一防火標語

『火は見てる あたなが離れる その時を』



会長賞

蓮田市立黒浜南小学校 石井さん作品



消防長賞

蓮田市立平野小学校 内村さん作品

(平成 19 年度 蓮田市消防本部及び蓮田市防火安全協会主催
防火ポスターコンクール最優秀 2 作品)

蓮田市消防本部

平成 19 年版

編集・発行 蓮田市消防本部 庶務係

〒349-0133

蓮田市閨戸 178 番地の 1

TEL 048-768-0119 (代表)

FAX 048-768-9937